

「あきる野市公園等管理・運営ガイドライン（案）」にご意見ありがとうございました。

ご意見に対する市の考え方についてお知らせします。

・意見募集期間：令和7年12月15日～令和8年1月13日

・提出意見：5名14件

令和8年2月

	意見の概要	市の考え方
1	「公園等の創出・整備・質の向上」について、観光・レクリエーション拠点地域が地図上、瀬音の湯周辺に限定して示されているが、機能の位置づけが一部地域に限定されている点は不十分であるとする。市民利用と来訪者双方に資する公園の質向上には、より面的・連続的な拠点配置が必要であることから、観光・レクリエーション拠点を瀬音の湯周辺に限定しないことを求めます。	本ガイドラインは、上位計画であるあきる野市都市計画マスタープランで定めた公園緑地整備の方針に基づき、公園の整備や運営の方針を総合的に整理し、基本的な方向性を示すものです。ご意見いただきました地図は、同マスタープランより抜粋した将来都市構想図であり、まちの将来像とフレームとして、瀬音の湯を中心とした十里木・長岳エリアを観光レクリエーション拠点として位置付けているものです。
2	秋川高校跡地とその周辺は、市街地近接ながら豊かな緑と高い交流・観光レクリエーションの可能性を持つため、ガイドラインで明確に重要対象と位置づけるべきです。2024年の有識者会議提言もメタセコイア並木の保全や市民交流・公園整備の必要性を指摘しており、これは市民の長年の要望を反映しています。跡地単独ではなく周辺施設や自然との連続性を考えた一体的な公園等の創出・整備を重要な対象として明記することを求めます。	秋川高校跡地とその周辺、武蔵引田駅周辺地区までの区域につきましては、上位計画である「都市計画マスタープラン」におきまして、産業系市街地として整備することを目指しております。またメタセコイア並木につきましては、秋川高校跡地及び周辺地区まちづくり方針（案）におきまして、地域のシンボルであることから、緑道として保全・活用し、緑を生かしたゆとりある空間の創出を図るものとしています。
3	東京都の「グリーンビズ」と整合し、自然環境の保全と利活用を両立させる観点から、秋川高校跡地を観光・レクリエーション拠点の一つとして位置づけ、周辺の自然環境や施設との連続性を重視する視点を明確に盛り込むことを求めます。	自然環境の保全と利活用は重要であると考えますが、秋川高校跡地とその周辺、武蔵引田駅周辺地区までの区域につきましては、上位計画である「都市計画マスタープラン」におきまして、産業系市街地として位置づけられております。
4	公園の活性化には他課や多様な機関との連携が重要。「公園を活かして何を実現するか」（環境保全、防災、子育て、健康、コミュニティ形成等）という効果重視の視点を持つことが必要。機能特化で余白が失われると本来の利点が損なわれるため、誰でも気軽に立ち寄れる「余白」としての価値を守ることが重要。市民が公園の魅力に気づく仕掛け（ガイドマップ、HP・公式LINEでの情報発信、他課連携事業など）を多様に実施し、柔軟に対応していくべき。	公園活性化の前提条件として、目的を持って横断的に多様な機関との連携を図ること、また、コア機能（例：子育て、運動、防災）」だけに特化した専用公園とするのではなく、公園毎に機能的な特色を持たせながらも「余白」たるエリアもあることは市としても重要と考えております。なお、公園の魅力の情報発信につきましても、運用ルール等を含め、多種多様なチャンネルの活用を検討してまいります。
5	高齢化人口増を活用して、ターゲット（高齢者）と目標（生き活きたした昼間の街並み）を明確にし、実効性を高める。具体案としては、小和田グラウンドを秋留台公園のようなスポーツ公園に転用し、新たな交流・魅力空間を整備する。高齢者向けにグラウンドゴルフ場を設け、川岸の桜などの緑化や、トイレ・ベンチ等の休憩施設の整備をする。期待される付帯効果として、高齢者の健康増進と生活の質向上、医療費削減への寄与、老人福祉や交流の場の充実による市の対外的な魅力・知名度向上が見込める。	小和田グラウンド等のグラウンドは、現在幅広い年代の方々にソフトボール、少年野球、ゲートボール等のスポーツ利用で親しまれている多目的施設であります。また、公園は特定の年代や属性に限らず、誰でも利用できる開かれた施設であることも求められますので、再整備を行う際には、幅広く意見聴取を行い、地域や利用者のニーズを汲み取った上で検討してまいります。なお、小和田グラウンドの転用につきましては、ご意見として参考にさせていただきます。
6	令和5年度の親子アンケートで、最も求められている子育て支援は「親子が安心して集まれる公園などの屋外施設の設備」であり、小学生が楽しく過ごせる場は「友達の家」に次いで「公園」が第2位。放課後に公園で過ごす子どもは約12%であった。これらの結果を施策に反映し、特に「子どもの声」を市民ニーズとして重視してほしい。子どもの本音はアンケートだけでは見えにくく、声を聴く工夫（直接の意見聴取など）が必要。公園は親子が安心して過ごせる場であり、学校や家庭と異なる「自由に過ごせる居場所」として大切にすべき。	幅広く声を聴く工夫は重要であると考えますので、今後、公園の整備・再編等を進めていくにあたり、公園が利用者の方々にとって居心地よく自由に過ごせる場所となるよう、住民参加の在り方や意見聴取の手法について、検討してまいります。

7	<p>「ガイドラインの位置づけ」図は分かりやすいが、他の計画との連携（ヨコのつながり）を可視化して追記することが望ましい。公園の「ストック効果」は、防災、環境、健康・レクリエーション・子育て・教育など多面的である。公園は一度整備すると長期にわたり変えにくいいため、長期的・横断的な視点で多様な関係者と連携しながら整備・運営すべきである。</p> <p>「柔軟な見直し」は、現行計画に記載がないからといって関係性を無視することを意味せず、上位計画である「あきる野市総合計画」や「あきる野市都市計画マスタープラン」と整合させつつ積極的に連携を進める必要がある。</p> <p>こうした視点はマスタープランの理念や「量から質への転換（既存公園の活用による質向上）」にも合致する。</p>	<p>本図は都市計画マスタープランに基づく物であり、図が他計画との連携を示していないことは、他計画と連携しないことを意味するものではありません。ご指摘を受け、上位計画や他の計画との整合を図り整備・運営を行う旨を「2 ガイドラインの位置づけ」に追記し、表現を改めました。</p>
8	<p>ストック効果分類表における表記について。「②環境維持・改善効果」が“・”（中丸）であるのに対して「⑥子育て、教育効果」が“、”（読点）である理由はなんなのでしょうか。</p>	<p>誤記のため、読点を中丸へ修正しました。</p>
9	<p>公園の地図に関して 5ページ目にある「あきる野市公園位置図」ですが、解像度が低く、町丁目界などの線などもなく、公園の名称もなく、どれがどの公園かも判別しづらいものになってしまっています。公園の整備・運営に関する総合的なガイドラインとして、あまりにも残念です。もう少し丁寧な地図にならないでしょうか。本ガイドラインに対する市の姿勢が垣間見えるようで大変残念に思います。</p>	<p>公園名を入れることにより、雑然とした地図となってしまうことから、シンプルに示すデザインとしていました。ご指摘を受け、大まかな地名の記入を入れた図に修正しました。公園名につきましては、図の見やすさを考慮し省略させていただきました。</p>
10	<p>9月に募集した素案への意見と対応結果がホームページでの公開期間が短く、現在は閲覧できません。意見が反映されたことだけでなく、計画策定までの経緯や判断過程が見えることが重要です。公開できない理由があるのでしたら教えていただきたいです。</p>	<p>ご指摘を受け、現在は公開しております。</p>
11	<p>ストック効果分類に生物多様性の文言が書かれているところではあるが、整備・誘導方針にも、生物多様性の確保及び市民に対する啓発、ヒートアイランド現象の緩和を記載してほしい。また、グリーンインフラとしての防災機能については、ストック効果分類の防災性向上効果に含めてほしい。ガイドラインに公園が環境に果たす重要性をきちんと記述することで、各公園の整備計画に反映されるようにすることが重要と考える。</p>	<p>生物多様性の確保や、ヒートアイランド現象の緩和などの、公園が都市の環境に対して果たす役割についても触れた表現に改めました。</p>
12	<p>できれば、当ガイドラインを環境基本計画の下に位置づけてほしい。公園整備を環境政策課の担当にできるとなおよい。</p>	<p>本ガイドラインは、環境基本計画と連携しておりますが、都市計画マスタープランに基づいたものであります。公園が環境に対して果たす役割につきましても重要であると考えますが、都市施設として公園がもたらす、地域住民のレクリエーションや交流、子育てや防災等の様々な役割や効果について、基本的な方向性を示すものとしています。</p>
13	<p>近隣住民から、落葉が多くて困るから公園の木を切してほしいという要望があったとしても、樹木が気候変動の緩和に果たす役割について説明し、理解を求めるといったガイドラインにしてほしい。</p>	<p>公園の樹木等の果たす役割と、利用者の安全確保や近隣住民の生活環境に配慮した、バランスのとれた管理の在り方について検討する必要があると考えております。ご指摘いただきました樹木の役割につきましては、緑が都市の環境に対して果たす役割とした表現に修正しました。</p>
14	<p>長年自宅前の公園の草取りや落ち葉・花びら掃除を住民（自分と両親、いずれも80歳超）で行っていた。大きな桜の木があって、花びら・花がらの掃除が特に大変だったが、先日木を剪定してもらえ、安堵しているところであるが、じきに再び大きくなる。住民は心臓や股関節、腰痛などの持病があり、無理ができない。私達も少しは協力するが、市による管理を増やしてほしい。</p>	<p>地域の方々による活動に感謝申し上げます。道路に越境した枝は車両の通行の妨げとなり、通路の落ち葉や花びら等は、歩行者の転倒や、ベビーカー、車椅子のスリップの危険性があります。市では定期的に清掃、樹木剪定や伐採を行っておりますが、公園樹木等の管理の在り方を含め、検討をしたいと考えております。</p>